

医療従事者を対象としたメンタルヘルス対策は、産業保健はもとより、医療安全、職員の定着・離転職予防等、多岐に渡る観点から注目に値する。労働者健康状況調査（厚生労働省，2013）から、産業保健上の課題を概観すると、医療・福祉分野における、メンタルヘルス不調による休業あるいは退職は、全産業平均と同等の水準であるにもかかわらず、休業した職員の職場復帰が少なく、また、職場復帰のルール未整備も顕著であり、メンタルヘルス不調による休業からの職場復帰の難しさが垣間見える。さらに、強い不安や悩み、ストレスを自覚する医療従事者は、7割を超えることも明らかにされており、個別的な支援だけでは対応できない懸念が拭えない。

一方で、昨今の職場のメンタルヘルス対策では、ストレスチェックの義務化をはじめとして、個別対応による支援にとどまらず、職場等の集団を対象とした組織的な対策・支援に関心が寄せられている。特に、労働者参加型の職場環境改善は、メンタルヘルス不調の予防において持続的な効果が示唆されている。また、職場環境改善において、労働者の活力や満足感といったポジティブな指標を勘案することにより、メンタルヘルス不調の発生予防のみならず、個人と組織の活性化や労働者の定着・離転職予防にも効果が期待されている。実効的な参加型職場環境改善には、建設的なコミュニケーションと継続的な活動の展開が欠かせない。

ここでは、医療従事者の職業性ストレスにおける課題を概観し、その対策として、参加型職場環境改善の方法と留意点を中心に紹介する。

講師略歴

2003年	早稲田大学第一文学部総合人文学科心理学専修卒業
2003年～	外部EAP機関のカウンセラーとして企業のストレス評価、コンサルテーション、個別相談対応に従事
2005年	早稲田大学大学院文学研究科修士課程心理学専攻修了
2007年	早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程 心理学専攻単位取得
2006年～	産業医科大学産業生態科学研究所精神保健学研究室助教

資格	精神保健福祉士 修士（文学）
----	-------------------

所属学会	日本産業衛生学会代議員 日本産業ストレス学会理事・広報委員 日本産業精神保健学会評議員・精神保健福祉士部会副部長 日本ストレス学会評議員 日本行動医学会評議員 日本精神衛生学会理事 産業組織心理学会
------	---